

## 1 単元名 「長く続いた戦争と人々の暮らし」

### 2 単元について

本単元は、学習指導要領第6学年の内容(1)のケ「日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国民民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること」を受けて設定した。その中から、日華事変、戦争の広がり、終戦までを扱う。

前単元では、日清戦争、日露戦争と2つの大きな戦争に勝ったこと、産業や科学の発展、不平等条約の改正など日本が世界に勢力を伸ばしてきたことを学習してきた。本単元は、勢力を伸ばした日本が軍国主義の道へ進み、国全体が戦時体制に移行したこと、またアジアをはじめ、多くの国を巻き込み戦争を行ったこと、その結果、軍人だけではなく民間人も被害を受け終戦を迎えたことを学習する。また、本単元は中学校の社会科学習「二度の世界大戦と日本」に繋がっていく。世界大戦の背景にある複雑な歴史的事象を捉えられるよう、我が国の歴史はしっかりと押えさせたい。

今年は終戦を迎え、70年となる節目の年である。世界中を巻き込み、日本だけでも300万人以上が亡くなった未曾有の戦争であり、その様子はニュースや新聞などでも大きく取り上げられている。しかし、実態調査の結果から子供たちの多くは「終戦」や「戦争」という言葉を知っていても、遠い昔のこと、自分たちにあまり関係が無いことと捉えていることがわかった。実際に家で詳しく戦争の話聞いたことがある子供は全体の20%に満たなかった。また戦争に関する社会的事象や背景は複雑であり、戦争に至った経緯や結果を知っても、子供によっては「戦争は悲しい」「戦争はしてはいけない」など表層的な捉え方に留まってしまうことが考えられる。戦争が国民生活に大きな影響を及ぼし、たくさんの国民や近隣諸国に大きな被害をもたらしたことを理解するためには、戦争を遠い過去のことではなく、自分たちに関わりがあるものとして捉え、当時の人たちの気持ちを考えながら学習していく必要がある。

そこで本単元では、身近な教材を導入に使い学習を進めていく。そして日本は景気回復を図るために日華事変を起こし中国を侵略したこと、そして資源を得るために戦線を拡大していき、アメリカとの太平洋戦争に突入したという事実を理解する。戦争がどうして起こったのか、その背景を理解することで、「戦争」というものを言葉だけでなく実際に起こったものとして、調べる取りかかりとしていきたい。その上で、この地域で実際に起こった戦災や苦難を強いられた国民生活についても取り扱っていくことにする。身近な戦災資料として本校に在籍した方も証言している「100人の証言集」や空襲の記録や当時の写真などを用いて学習を進めていくこととし、千葉空襲を体験したピーススタッフの方にも平和に対する想いを直に話してもらう場を設けることにした。そうすることで、戦争の被害者は、戦いに参加した軍人だけでなく、直接戦っていない民間人も含まれることを、実感をもって知ることができるであろう。また学習のまとめとしてピーススタッフの方にメッセージカードを書くという活動をする中で、戦争を経験した国に生きている自分が今後どういう思いを大切にしていきたいか、どう生きていきたいか、子供一人一人が現在を見つめ直し、未来へと目を向けていけるようにしたい。この学習を終えたとき、学習前とは違った視点で「平和」を感じ、今を大切に、「未来」を創る意識を高められるよう、学習を進めていきたい。そして、この学習で学んだことを自発的に家族や次世代に伝えていけるような子供たちに育てていきたい。

### 3 子供の実態

#### ① 戦争についてどう思いますか。

絶対ダメだと思う	なるべくしない方がいい	理由があるならいい	いいと思う
29	2	2	1



#### ② なぜそう思ったか理由を書いてください。

戦争に肯定的な子供も数名いる

- 戦争に反対する理由
- ・よくない 悲しいから (12人)
  - ・人が死んでしまうから (7人)
  - ・物が壊されるから (7人)
  - ・生活が壊されるから (3人)
  - ・別の方法で解決すればいい (3人)
- 戦争に賛成する意見
- ・その国の勝手だから (1人)
  - ・悪を倒すためには仕方ないから (1人)
  - ・少し仕方ないことだと思います (1人)
  - ・すごいと思うから (1人)

#### ③ 過去の戦争や現在起こっている戦争に興味はありますか。

ある	どちらかというところ	どちらかというところない	ない
13	15	4	2

- 興味がない理由
- ・関係がないから (2人)
  - ・戦争がきらいだから。こわい (2人)
  - ・自分は大丈夫だから (1人)
  - ・無回答 (1人)

#### ④ 千葉市は戦争で直接被害を受けたと思いますか。

はい	いいえ
27	7



#### ⑤ 被害を受けたと思う人は、千葉市は戦争でどのような被害を受けたのか具体的に書いてください。

A 人的被害のみを記述	B 物的被害のみを記述	C AB両方を記述	わからない
2	11	2	10

- A
- ・10万くらい死んだ。(1人)
  - ・人口の10%が死去。(1人)
- B
- ・焼け野原になった (4人)
  - ・一本杉が燃えた。(2人)
  - ・家が燃えた (2人)
  - ・学校の屋上から見て、8割が燃えたが亥鼻山や千葉大は燃えなかった。(1人)
  - ・千葉市を100だとすると80くらいが被害を受けた。(1人)
- C
- ・だいたいの家が焼けたり、人が殺されたりして  
多くの人の心が傷ついた。(1人)
  - ・焼け野原になり、多くの人が犠牲になった。(1人)



詳しいこと、特に人の被害についてはわかっていない。

#### ⑥ 本町も被害を受けたと思いますか。

はい	いいえ
30	4



⑦ 被害を受けたと思う人は、本町は戦争でどのような被害を受けたのか具体的に書いてください。

A 人的被害のみを記述	B 物的被害のみを記述	C AB両方を記述	わからない
1	25	3	1

- A ・爆弾を落とされ、死んでしまった人がいる。(1人)
- B ・一本杉が燃えた。折れた。倒れた。(17人)  
 ・校舎がぼろぼろになった。燃えた。焼け野原になった。(10人)
- C ・人が死んでしまい、校舎も燃えた。(1人)  
 ・校舎も燃え、防空壕の中で亡くなった人がいた。(1人)

一本杉や校舎が燃えたことは知っているが、犠牲者が出たとは思っていない子供が多い。

⑧ 家などで戦争の話を詳しく聞いたことがありますか。(内容と聞き取り調査教師判断)

A はい	B 少し	C いいえ
6	14	14

- A ・戦争体験を祖母や祖母から (6人)  
 (千葉空襲2人、シベリア抑留体験、福岡での空襲、広島原爆、金属類回収の体験)
- B 例 テレビで見た時に少し話す。祖母の話を母から又聞きした。  
 焼夷弾や原爆の兵器について など

家庭で戦争について話す機会がない子供が大勢いる。

⑨ 歴史に詳しい人、体験をしたことがある人に話を聞いてみたいですか。

はい	いいえ
32	2

学級の子供は、社会科の学習に興味をもっている子供が多く、8割以上が「社会科が楽しい」と答えている。特に男子は休み時間、戦国時代の本や三国志、幕末など戦いが多い時代の本を読んでいる子供が多い。

実態調査を見てみると、多くの子供が戦争はいけないということは分かっていた。しかし、悲しいから、いけないからなどの理由に留まり、具体的な理由を書けない子供もいた。中には戦争をすごい、悪を倒す、仕方ないなど肯定的に捉えている児童もいた。身近な戦災についての項目では、自分たちの住む千葉市が過去に戦争に巻き込まれたという事実は知っているようであった。本校のシンボルマークである一本杉が戦争で焼けてしまったという話や、七夕空襲の話を聞く機会があったからではないかと思われる。しかし、空襲の被害の規模、特に人的被害についてはほとんどの子供が知らないことがわかった。本町の被害も「一本杉が燃えた」としか答えられない子供が大多数を占めるなど、空襲の怖さ、多くの人が亡くなったという事実を理解していない子供が多い。このことから空襲とは町が燃える火事みたいなもの、たまたま学校に爆弾が落ちてきて木が燃えた、と捉えている子供が多いことがわかった。また戦争について家庭で話す機会が無い子供も大勢いるという実態が見えてきた。

以上の実態から、子供たちは戦争というものを理解しているようで、実際はその多くを理解していないことがよくわかった。より深く戦争を理解するため、ここ本町も戦争により甚大な被害を受けたことを取り上げ、戦争は多くの罪のない市民も巻き込んでしまうことに気付かせていきたい。また、戦争体験や戦争の詳細を聞いたことがない子供が多いことがわかったので、ピーススタッフの方を呼び、複数回交流をする時間を設ける。そこで平和を願うピーススタッフの方と触れ合う過程で、戦争を学習する意味、戦争体験を語り継いでいく大切さを気付かせていきたい。

#### 4 知識の構造図

中心概念  
(概念的知識)

まとめる

長く続いた戦争は、国民生活に大きな影響を及ぼし、小さな子供を含むたくさんの国民や近隣諸国に大きな被害をもたらした。 ⑨

社会的事象 (具体的知識)



問題

解決的な  
学習の過程

つかむ

調べる

いかす

## 5 単元の目標

- 日中戦争、太平洋戦争や当時の国民の生活と、それらにかかわる代表的な文化遺産を通して、強化された戦時体制や敗戦によって国民生活が大きく変化したり被害を受けたりしたこと、外国に大きな被害を与えたことがわかる。
- 日中戦争、太平洋戦争、そのころの本町小に通う子供の生活や原爆ドームの様子から学習問題を見出し、地図や写真、体験談などの資料を活用して調べたことをまとめるとともに強化された戦時体制や敗戦によって日本中や身近な地域の国民が大きな被害を受けたこと、外国にも大きな損害を与えたことなどについて思考・判断したことを適切に表現する。

## 6 単元の評価規準

観点	評価規準
社会的事象への 関心・意欲・態度	日中戦争、太平洋戦争や当時の国民の生活と、それらにかかわる代表的な文化遺産に関心を持ち、進んで調べようとしている。
社会的な 思考・判断・表現	日中戦争、太平洋戦争や当時の国民の生活と、それらにかかわる代表的な文化遺産について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 日中戦争、太平洋戦争や当時の国民の生活と、それらにかかわる代表的な文化遺産について調べたことを比較したり、身近な地域と関連づけたりして考え、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	文化財、地図や年表、戦争を体験した人の話、その他の資料を活用して、日中戦争、太平洋戦争、そのころの国民生活とそれらにかかわる代表的な文化遺産について調べて、必要な情報について読み取っている。 調べたことを整理して図などにまとめている。
社会的事象についての 知識・理解	戦時体制の強化や敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと、戦場になった地域に大きな損害を与えたことを理解している。

## 7 単元の指導計画 (11 時間扱い)

観点	時数	主な学習活動と内容
つ か む	1	○一本杉の横にある石碑にどんなことが書いてあったのか思い出話し合う。 ・「たくましく伸びていこう」だよ。 ・「戦争で燃えたけど、枯れずに芽を出した」だよ。 ○一本杉の石碑にはどのような願いが込められているのか考える。 ・当時の生活が苦しかったから頑張ろうという思いから。 ・戦争を忘れないためだと思う。
	2	○原爆を落とされる前と後の写真を見比べ、気付いたことや考えたことを発表し合う。 ・なぜ原爆が落とされたのだろう。 ・見渡す限り建物が無くなっている。 ○なぜ壊れたままの産業奨励館が世界文化遺産になったのか考える。 ・原爆が落ちたという歴史を忘れないため。 ・日本は世界で唯一原爆を落とされた国だから。 ○一本杉の石碑や原爆ドームの話を日華事変から終戦までの年表と関連させ話し合い

		<p>学習問題をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いったいどんな戦争だったのかな。</li> <li>・ 戦争当時の人々はどんな生活をしていたのかな。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>戦争は、人々にどのような影響をあたえたのだろうか。</p> </div>	
調 べ る	3	<p>○満州事変、日中戦争を起こした理由や戦争の広がりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国に勢力を伸ばして景気を回復しようとした。</li> <li>・ 満州を守らなければ日本が滅びると主張する人がいた。</li> <li>・ 戦争が中国全土に広がっていき中国の人々に多くの損害を与えた。</li> </ul>	
	4	<p>○なぜ戦争が広がっていったのかアジアの地図と資料を関係させながら調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石油などの資源を得るために東南アジアを攻撃した。</li> <li>・ イギリスやアメリカと対立し、さらに戦争が広がっていった。</li> <li>・ 国民は政府の言葉を信じて、戦争に協力させられたこと。</li> </ul>	
	5	<p>○戦時中の生活の様子について当時の身体測定の記録、写真、配給券を使い調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食料や衣類も少なくなり配給制となった。</li> <li>・ 町中に戦争への協力を呼びかける看板が立てられた。</li> <li>・ 学校で軍事訓練が行われたり、小学生は地方に集団疎開したりした。</li> <li>・ 本町小でも防空訓練や、芋の切り出しを行った。</li> </ul>	
	6 (本時)	<p>○千葉市は空襲でどのような被害を受けたのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一本杉が燃えただけでなく町全体が燃えた。</li> <li>・ 戦いに直接関係がない人も被害に遭った。</li> <li>・ 子供を含む 1600 人の方が亡くなった。</li> </ul>	
	7	<p>○千葉空襲を体験したピーススタッフの方から、空襲の様子を聞いたり、質問したりして、感想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空襲は頭の中が真っ白になるぐらい怖かったんだな。</li> <li>・ 本当に子どもも戦争の被害に遭っていたことがわかった。</li> </ul>	
	8	<p>○戦争はどのようにして終わったのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本各地が空襲にあった。</li> <li>・ 沖縄にアメリカ軍が上陸し、民間人を含む 20 万人の方が亡くなった。</li> <li>・ 原子爆弾が長崎、広島に落とされ多くの方が犠牲になった。</li> <li>・ 8月15日に降伏し、15年にわたる戦争が終わり、同時に台湾や朝鮮の植民地支配が終わった。</li> </ul>	
	ま と め る	9	<p>○学習問題について調べてきたことを整理し、ノートにまとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>長く続いた戦争は、日本を含む戦場になったアジアの人々に大きな損害を与え、民間人を含む多くの方も犠牲となった。また国民生活に大きな影響を与えた。</p> </div>
		10 11	<p>○ピーススタッフの方に思いを語っていただき、学習を通して生じた疑問を質問する。</p> <p>○学習を振り返って戦争に対しての自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争は関係がない人も巻き込んでしまうから絶対にしてはいけない。</li> </ul>

いかす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争は相手も幸せにならないから話し合うことで解決しよう。</li> <li>○ピーススタッフの方にメッセージカードを書く。</li> <li>・今日聞いた話を家族にも伝えたいと思います。</li> <li>・戦争はしょうがないと思ったけど、絶対してはいけないことだとわかりました。</li> </ul>
-----	---

※ \_\_\_\_\_は身近な教材を入れました。

## 8 市教研社会科研究主題のための方策

「みえる わかる・・・िकास」  
よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う社会科学習

主題との関連追究

### ① 視点2 追究意欲を高め、社会認識が深まり、参画への意識が育つ教材の開発

(手立て1)

本単元では身近なところで起こった出来事だと感じさせる教材を用意し、戦争の概要だけでなく、その当時、生活していた人々の思いも感じられるような学習にしていきたい。学習に使用する教材として70年前、七夕空襲を体験した本町小出身者の体験談や、当時の写真、地図などを提示することにした。当時の本町小の校舎は七夕空襲で全焼し、在籍していた子供も亡くなっている。また体験談の中に「都川」「本町」「市場町」など、本校の子供の生活に非常に関係がある地名が出てくることに驚き興味をもつだろう。当時の本町小学校で行われた身体測定の結果や、校舎で芋の切り出しを行っている写真を見せることで、当時食料が無かったこと、生活のすべてが戦争の犠牲になったことにも気付かせたい。

このような身近な教材を使うことで、戦争の被害を受けたのは軍人だけではなく、自分たちと同じような子供や民間人もいるということを実感するだろう。また、戦争の被害の実態を数値上のもの、資料上のものとしてではなく、身近なものとして捉えることができ、クラス全体が戦争に対して、具体的なイメージを共有しやすくなるであろうと考えた。また戦争の概要だけではなく、その当時の人の生活、思いに触れることで、戦争を改めて考えることができ、社会認識が深まるきっかけになるであろう。そして学習の最後には「戦争は自分に関係ない」「戦争はすごい」と思っている子供たちが、戦争とはどういったものなのか、もう一度、真剣に考える姿を見られるだろうと考えた。

### ② 視点3 主体的に学び、参画への意識が高まる学習過程の工夫

(手立て2)

学習過程の工夫として、戦争当時、登戸に住んでいたピーススタッフの方に2度来校してもらうことにした。戦争や当時の生活の様子を知る上で、戦争体験者の方の「生の声」を聞くことは非常に有効だと考える。また、ピーススタッフの方は終戦時、本学級の子供とほぼ同じ年齢ということもあり、子供たちもより姿を重ねやすく現実味をもって話を聞くことができるであろう。

ピーススタッフには千葉空襲の学習を終えた後に来校してもらい、空襲当時の様子を話してもらう。この体験を経ることで、子供たちは戦争をより現実的に感じ、主体的に考えるきっかけになるのではないかと考えた。そして、学習の最後にはピーススタッフの方に再度来校してもらい戦争に対する思いを語っていただく。そこでは子供たちもピーススタッフの方に自分の思いを伝えたり、質問したりする場を設ける。ピーススタッフの方と複数回の交流を重ね、自分たちのメッセージを形あるものと

して発信することは社会参画への素地作りにつながると考えた。そしてピーススタッフの方がなぜ、自身の悲しい体験であることを語り継いでいるのか、自分たちに何を伝えたいのか、その思いに気付くことで、自分たちがどのような形でこれからの平和な社会を担っていけばよいかを考えさせたい。

## 9 本時について (6/11)

### (1) 本時の目標

- 千葉市が空襲の被害にあったことに関心をもち、意欲的に調べようとする。 (関・意・態)
- 空襲によって戦争に直接関係がない多くの人が犠牲になったこと、千葉市も多くの被害を受けたことを資料から読み取っている。 (技能)

### (2) 展開

時配	学習活動と内容	○教師の指導と支援 ◆評価	資料
2	1 焼夷弾と機銃の玉を見て、気付いたことを自由に話し合う。 ・筒状になっている。 ・大きなピストルの弾みたい。	○千葉空襲で使用された実物を提示することで子供の調べる意欲を高める。	・焼夷弾 ・機銃の玉
5	2 学習問題に対しての予想を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">千葉市は空襲でどのような被害を受けたのだろう</div> ・多くの家が燃えた。 ・たくさんの方が亡くなった。 ・一本杉や校舎が燃えた	○予想が立てられない子供には一本杉の石碑に書かれていたことを思い出すよう助言する。	
3	3 焼夷弾を落としている映像を見て被害を予想する。 ・焼夷弾が大量に落されている。 ・町の広い範囲が燃えている。	○子供たちが空襲の様子をイメージしやすいように映像を見せる。	・映像資料
12	4 教室に掲示した資料を使って調べる。 <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;">① 空襲の時間、攻撃目標、被害者数などの統計がわかる資料 ② 中央区の主要施設が記載されたマップ (空襲の被害にあった場所は赤く表示) ③ 千葉空襲で使用された焼夷弾と空襲の熱によって溶け、固まった銅貨</div>	○1つ1つの資料について考える時間を与えるため、全ての資料を調べる必要はないことを伝える。 ○被害を受けた範囲を実感できるようにするため、資料2はタブレットで表示し、拡大操作できるようにする。 ◆千葉市が空襲の被害にあったことに関心をもち、自分の予想をもとにして意欲的に調べようとしている。 (ノート) <関・意・態>	・左の欄に詳細を記載 ・



12	<p>5 資料から読み取ったことや気付いたことを発表する。</p> <p><u>①の資料から</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空襲で 1600 名の人が亡くなった。</li> <li>・住宅地を目標にしていた。</li> <li>・爆弾は約 900 トン落とされた。</li> </ul> <p><u>②の資料から</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地のほとんどが燃えてしまった。</li> <li>・自分の家のある場所も被害に遭っていた。</li> </ul> <p><u>③の資料から</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の家を焼くために開発された。</li> <li>・お金が熱によって溶け、くっついている。</li> </ul>	<p>○資料を見ていない子供にもわかるように実際に資料の前に立ち、読み取った部分を指しながら発表させる。</p> <p>○根拠をもとにして発表させるため、このことから～がわかりました。と発表させる。</p> <p>◆空襲によって戦争に関係が無い人が犠牲になったこと、千葉市も多くの被害をうけたことを資料から読み取って発表している。 (ノート,発表) &lt;技能&gt;</p>	
10	<p>6 今日の授業のまとめをし、感想を書く。</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>軍に関係する工場だけでなく住宅地も破壊され、多くの人々の生命がうばわれた。</p> </div>			
1	<p>7 次時の学習は千葉空襲を体験した方に話を聞くことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の人に詳しく話を聞きたい。</li> <li>・どんな空襲だったのか会って話を聞いてみたい。</li> </ul>	<p>○感想を書く前に本町小出身の方の戦争体験を少しだけ読み、次時の活動につなげる。</p>	<p>・資料 4</p>
1	<p>7 次時の学習は千葉空襲を体験した方に話を聞くことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の人に詳しく話を聞きたい。</li> <li>・どんな空襲だったのか会って話を聞いてみたい。</li> </ul>	<p>○当時のことを知る人の存在を伝え、もっと知りたいという学習意欲を高めさせる。</p>	

板書計画

千葉市は空しゅうでどのような被害を受けたのだろう

㊦ たくさんの方が亡くなった。  
一本杉や校舎が燃えた。

㊦ 資料 1

- ・千葉市で 1600 人もの方が亡くなった。
- ・住宅街が攻げき目標だった。
- ・爆弾は約 900 トン落とされた。

資料 2

- ・中央区のほとんどが燃えてしまっている。
- ・本町小や自分の家の周りも燃えてしまっている。

資料 3

- ・焼夷弾は日本の家を焼くために開発された。
- ・お金が熱によって溶けくっついている。

㊦ 軍に関係する工場だけでなく、住宅街も破壊され、多くの人々の命がうばわれた。

## 千葉空襲資料 1

昭和 20(1945)年 6 月 10 日		昭和 20(1945)年 7 月 7 日
時間	午前 7 時 45 分～46 分	午前 1 時 39 分～3 時 5 分
米軍の 攻撃目標	日立航空機千葉工場 (現在の JFE スチール)	千葉市の住宅地
出撃機数	27 機	129 機
投下した爆弾 などの総重量	138.2トン (トラック1台が約1トン)	889.5トン
死傷者	391 人	1,204 人

総務省 千葉市における戦災の状況（千葉県）から

## 千葉空襲資料 2



7月7日の空襲で燃えた場所を赤く着色 千葉戦災復興誌 参考

### 千葉空襲資料 3

#### 焼夷弾

#### 空襲の熱で溶けて固まった銅貨



木造の日本家屋を効率よく焼き払うために米軍が開発した。投下後、上空 700m 程度でこれらが数十個に分離し、一斉に地上へ降り注ぐ。(これはそのうちの一つ)中にはガソリンなどを詰めた。

### 千葉空襲資料 4

#### 八木下義雄さんの証言

(7月7日空襲の時 本町小学校5年生 市場町に住んでいた。)

警戒警報が発令されると父は私を連れて千葉高への上り坂の防空ごうへ避難した。外の様子を見た。すると、千葉の空は海まで真っ赤であった。火の海であった。

#### 本木淑子さんの証言

(7月7日空襲の時、15歳、東本町に住んでいた。)

弟は本町小学校に通っていた。夜10時ごろ、空襲警報がなり空襲が始まった。私とは母と弟と逃げた。すぐ焼夷弾と爆弾が落下して来て戦場になった。爆弾が近くで炸裂した時、私は太ももを熱い丸太で思いっきり打たれたような激痛を感じた。

気がついて、弟に声をかけ体をゆすったが、もう身動きしなかった。